

報道関係各位
プレスリリース

No. BM220607-01
2022年6月7日
株式会社リンク

リンク ベアメタルクラウドが「AlmaLinux」を標準 OS として提供開始

~~コントロールパネルからワンクリックでインストールが可能~~

物理サーバがクラウドのように使える「リンク ベアメタルクラウド」を展開する株式会社リンク（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田元治、以下 リンク）は、本日より、サーバ作成時に選択できる標準 OS として「AlmaLinux」の提供を開始します。

CentOS は、有償 Linux ディストリビューションの Red Hat Enterprise Linux（以下 RHEL）と高い互換性を持つ OS で、企業向けサーバ OS として普及しています。しかし、2021 年 12 月末にサポートが終了した CentOS 8 を最後に、開発元の CentOS Project は RHEL クローンとしての CentOS リリースを終え、以降「CentOS Stream」へと移行することを発表しました。CentOS Stream は従来の CentOS と異なり、リリース前の次期 RHEL バージョンのテスト OS という位置づけとなるため、これまでと同様の使い方ができなくなると懸念されています。

そこでリンク ベアメタルクラウドでは、これまで標準 OS として提供していた CentOS の代替 OS として、「AlmaLinux」を提供します。AlmaLinux は、CloudLinux 社を中心としたコミュニティで開発されている RHEL のクローン OS で、CentOS と同様に無償利用可能なオープンソースの Linux OS です。CloudLinux 社は、データセンターやホスティング事業者向けに RHEL ベースの有償ディストリビューションを 10 年以上にわたって開発・保守を行ってきた実績があり、多くのスポンサーから出資を受けているため、長期的に安定した開発とサポートが見込めます。

AlmaLinux を標準 OS として採用したことにより、ユーザはサーバを作成する際に、AlmaLinux をワンクリックでインストールできるようになります。その他コントロールパネルから操作できる標準機能（バックアップ・サーバ複製・テンプレート化・IP アドレス設定など）についても、従来の CentOS と同様に利用可能です。

この度提供する AlmaLinux OS 8 のサポートは、RHEL 8 のサポート期限に合わせ、2029 年までアップデートやセキュリティパッチを提供することが公式サイトで発表されており、2024 年 6 月末にサポート期限を迎える CentOS 7 の移行先としても最適です。

今後もリンク ベアメタルクラウドでは、エンジニア・Web サイト担当者・セキュリティ担当者の運用負荷を軽減しながら、安全なシステム運用を実現するためのサービスを提供してまいります。

リンク ベアメタルクラウドについて

リンク ベアメタルクラウドは、クラウドサービスが持つ「スピード感」や「手軽さ」と、物理サーバの「高性能」かつ「安定性」といったメリットを併せ持つクラウドサービスです。スピードが必要な Web サービスから品質を重視するエンタープライズまで、幅広い用途に適しています。経験豊富なスタッフによる課題解決の提案や、電話・メールでの 24/365 サポートを標準サービスとして提供しており、導入検討の段階から導入後のフォローまで手厚いサポートを行っています。

サービスの詳細は、<https://baremetal.jp/> をご覧ください。

株式会社リンクについて

株式会社リンクは、業界最大級の稼働台数を持つ専用ホスティング「at+link」、クラウド型ホスティング「リンク ベアメタルクラウド」を軸として、5年連続シェア第1位のクラウド型コールセンターシステム「BIZTEL」、セキュリティプラットフォームサービス「PCI DSS Ready Cloud」など、さまざまなインターネット関連サービスを提供しています。農系事業にも取り組んでおり、2011年10月からは岩手県岩泉町にある自然放牧酪農場「なかほら牧場」を運営しています。

事業の詳細は、<https://www.link.co.jp/> をご覧ください。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社リンク マーケティング部 担当：井上 TEL：03-5785-2255 / FAX：03-5785-2277 / Email： marketing@link.co.jp